

平成29年 9 月 第 4 回大津町議会定例会 議決一覧

議案	議員名	桐原 則雄	府内 隆博	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	手嶋 靖隆	坂本 典光	大塚 龍一郎	源川 貞夫	本田 省生	佐藤 真二	豊瀬 和久	金田 英樹	山本 富二夫	山部 良二	三宮 美香	賛成 (○)	反対 (●)
平成28年度一般会計歳入歳出決算		—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
国民健康保険歳入歳出決算		—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
介護保険歳入歳出決算		—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	13	2
後期高齢者医療歳入歳出決算		—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
森林環境税（仮称）に関する意見書提出を求める請願書		—	○	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	4
「小中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書」		—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
「森林環境税（仮称）に関する意見書」		—	○	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	○	○	○	●	8	7

採択

請願第 1 号 「森林環境税（仮称）に関する意見書提出を求める請願書」

陳情の趣旨、市町村が継続的かつ主体的に森林の整備・保全に取り組むことができるよう安定財源の確保に向けて森林環境税（仮称）を早期に創設すること。

提出者

菊池市旭志

菊池森林組合 代表理事組合長 前川 収

議員発議 1 号

小中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書を提出します。

提案理由

近年、特に顕著となっている教職員の多忙化に拍車をかけることになりかねず、外部人材の活用など、人的あるいは財政的支援が必要となる。

小中学校における I T 機器の整備は、主に基礎自治体に委ねられてきたものの、自治体の財政力により整備状況に大きな差が生じているのが実状である。プログラミング教育において、自治体間の格差を是正するためにも、指導上必要となる機器の整備などに対する財政措置が求められる。

議員発議 2 号

森林環境税（仮称）の早期創設を求める意見書を提出します。

提案理由

森林の持つ多面的機能の恩恵を広く県民全体が享受していることに鑑み、大津町が継続的かつ主体的に森林の整備・保全に取り組む事ができるよう、安定財源の確保に向けて「森林環境税（仮称）」を早期に創設すること。